

## 大会趣旨

明日の日本そして世界を担う青少年が、豊かな心を育み、たくましく成長し、自立・活躍できる社会を実現することは、私たちの願いです。もちろん、多くの子どもたちも自分の夢や希望に向けて努力し、成長を遂げようとしています。一方で、少子高齢化やグローバル化、AIの進化による急激な社会の変化に伴い、子どもの規範意識の低下、ネット犯罪や貧困問題、ヤングケアラーなどを背景として、問題が多様かつ複雑になっており、学校や家庭だけでは対応できない課題が多くなっています。

中でもコロナ禍は、家庭や学校、地域教育の活動に甚大な影響を及ぼしました。オンライン授業や学校行事の中止、会話の抑制などにより、目と目を見て話すという人間本来のコミュニケーションや、それによって生じる絆を断ち切ってしまったのです。ウィズコロナ、アフターコロナの新たな時代に向けて、私たちは切れた絆を再構築しなければなりません。「親の背を見て子は育つ」と昔から言われてきましたが、背中を見せるのではなく、子どもの目を見て気持ちを伝え合おうではありませんか。

「予測困難な時代」に突入するなか、この変化に対応していくためには、学校及び家庭や地域においてどのような教育が求められるのか。暗中模索のトンネルの中でも、出口にたとえ小さくても灯りを見出すことができれば、新たな時代に向かって進むことができるはずです。その灯りを本大会で見つけていただければ幸いです。

幕末の動乱期に、水戸学は新たな時代明治維新に大きな影響を与えました。その水戸の地で、PTAの新たな取り組みに向けて話し合える機会を持つことができるのは、意義あることだと思います。

今後とも私たちは、予測困難な社会情勢の中においても、PTA活動の歩みを粘り強く進めていかなくはなりません。すべての子どもたちが、自らの居場所を得て、自己有用感を高め、持てる力を十分発揮できるようになるための新たな時代のPTA活動を目指し、関係機関・団体との連携を一層密にした活動体制の充実強化に積極的に取り組める大会となることを祈念し、ここに茨城大会を開催します。